

大学・高専機能強化支援事業
(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)【支援1】
事業概要

令和5年7月時点

1. 基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	F127310108081
大学名	関西大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	大阪府
大学全体の総収容定員数	26,178 名 ※令和5年5月1日時点		
学部学科組織構成	法学部（法学政治学科）、文学部（総合人文学科）、経済学部（経済学科）、商学部（商学科）、社会学部（社会学科）、政策創造学部（政策学科、国際アジア学科）、外国語学部（外国語学科）、人間健康学部（人間健康学科）、総合情報学部（総合情報学科）、社会安全学部（安全マネジメント学科）、システム理工学部（数学科、物理・応用物理学科、機械工学科、電気電子情報工学科）、環境都市工学部（建築学科、都市システム工学科、エネルギー環境・化学工学科）、化学生命工学部（化学・物質工学科、生命・生物工学科）		

2. 事業概要

ビジネスデータサイエンス学部ビジネスデータサイエンス学科は、データサイエンスの理解のもと、ビジネスの現場に根ざした知恵を生かし、複雑な事象についてデータを基礎に理解し発展させることで、新しい価値を創出することができる人材の育成を目指すものであり、入学定員350名、収容定員1400名とし令和7年度に開設予定である。両分野を学び、データサイエンスに関する知識やスキルを現実のビジネス問題に適用する解決力を重視したPBL演習等を設置したカリキュラムを編成することとしている。 システム理工学部グリーンエレクトロニクス工学科は、環境に配慮した電子機器の開発や生産、それらを活用したエネルギーの効率的な利用方法の教育を行い、新たなグリーンテクノロジーを開発することを可能とする人材の育成を目指すものであり、入学定員60名、収容定員240名とし令和7年度に開設予定である。省エネルギー化および高効率化を意識した半導体デバイスやナノデバイスならびにセンサー技術の研究開発に必要な学問体系とし、企業実習、海外実習も設置する。
--

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和7年度
認可申請・届出予定	令和5年度 ※既に申請・届出している場合はその年度を記入
改組内容	学部の新設
設置等組織名	ビジネスデータサイエンス学部ビジネスデータサイエンス学科
設置等組織の学位分野	工学関係 経済学関係
当該学部等の所在地	大阪府吹田市
入学定員	350 名
収容定員	1,400 名
入学定員の増加数	350 名
他学部等の入学定員の減少数	0 名

改組予定年度	令和7年度
認可申請・届出予定	令和5年度 ※既に申請・届出している場合はその年度を記入
改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
設置等組織名	システム理工学部グリーンエレクトロニクス工学科
設置等組織の学位分野	工学関係
当該学部等の所在地	大阪府吹田市
入学定員	60 名
収容定員	240 名
入学定員の増加数	60 名
他学部等の入学定員の減少数	10 名

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入学定員を含む。



【学部改組の特色・コンセプト】

データを通じた価値創出に対する社会的なニーズの高まりを受け、ビジネスとデータサイエンスの両方の知識を備えた人材の育成を目指し、実践志向のデータサイエンス教育を展開する学部を新設

< 基本情報 >

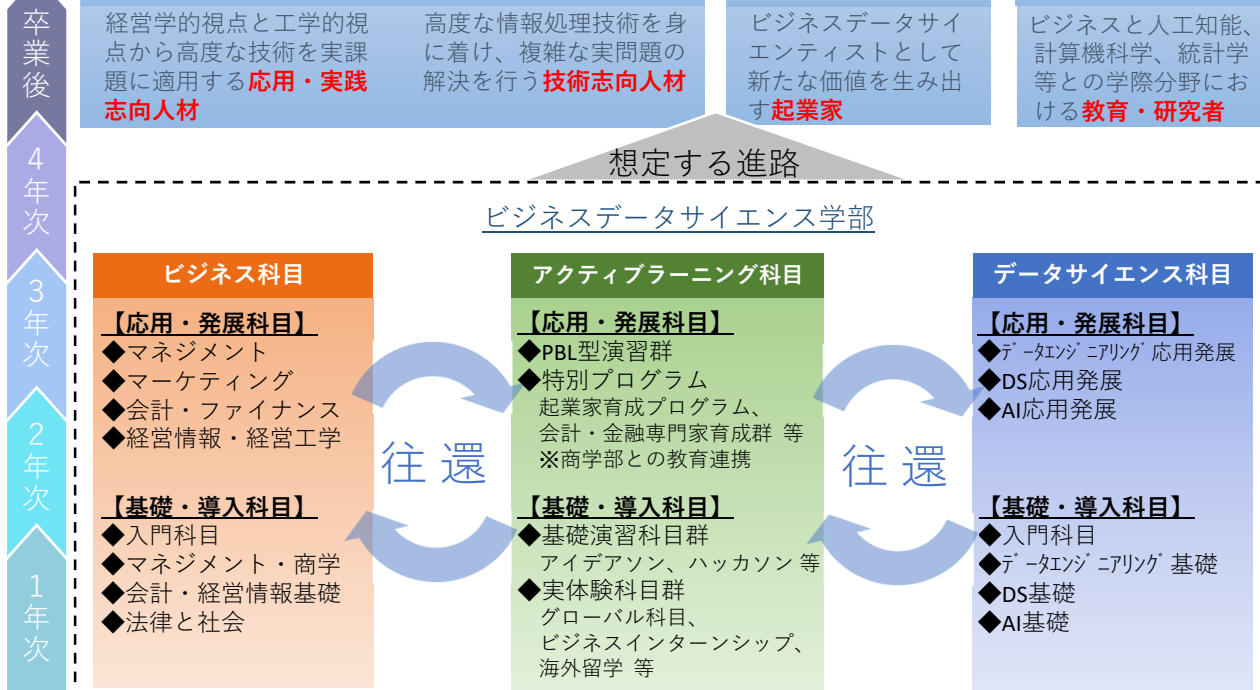
改組予定年度：令和7年度（2025年度）

改組内容：学部の新設

設置等組織名：ビジネスデータサイエンス学部
ビジネスデータサイエンス学科

入学定員：【令和7新設】350名

所在地：大阪府吹田市

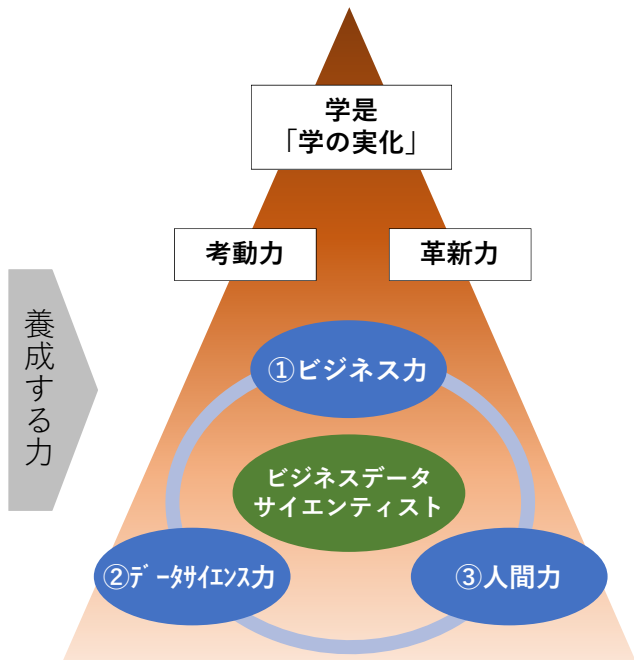


【教育課程の特色・他大学との差別化ポイント】

- ・ ビジネスに関する基礎理論をベースにAIやデータサイエンスを習得。
- ・ スキル・理論科目への動機付けのため、アクティブラーニングによる実践経験を獲得。
- ・ 各種企業との連携を通じて実データを活用した実践的なカリキュラムを展開。
- ・ データサイエンスに関する共同研究や指定寄付等への展開によって、教育と研究の好循環を創出。
- ・ 実務経験や国籍等の多様性に配慮した教員編成によって実務志向の教育やグローバルコースの設置等を検討。

多様な選抜

一般入試に加え、商業高校、バカロレア認定校、高専等との連携を通じて 国籍、性別、能力等の多様性に配慮した選抜を実施。 高大連携プログラムで特定の知識を習得した者の選抜など、尖った能力を持つ者の入学も促進。



- ①現場経験に裏打ちされたビジネス力
現実のビジネスにおける課題を理解し解決する **課題解決力**。また、他者に対する敬意を持ち、チームビルディングを行う **コミュニケーション力**。
- ②能力の礎となるデータサイエンス力
AI・数理・データサイエンスに関する汎用的な基礎理論や技術に加え、それらをビジネスの諸問題に適用する **構想力**や解決に導く **分析力**。
- ③人生を切り拓く主体的な人間力
社会全体の諸問題を自分ごととして捉え、知識・経験を基礎として、それらの問題に対処する **適応力**。社会の変化に応じて生涯にわたり自らをアップデートする **自己研鑽力**。



<基本情報>

改組予定年度	令和7年度
改組内容	既存学部における学科の新設 (当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの)
設置等組織名	システム理工学部 グリーンエレクトロニクス工学科
入学定員	【R7新設】60名
所在地	大阪府吹田市

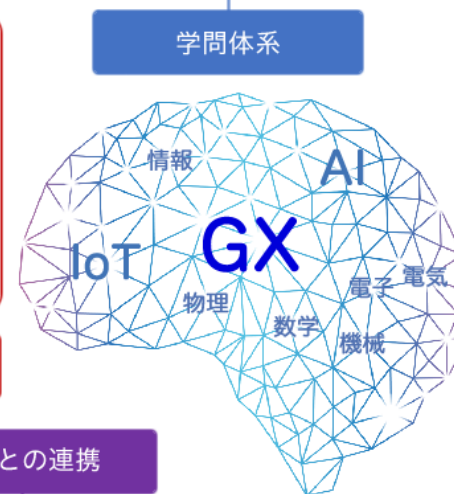
設置趣旨

- AIならびにIoTを中心とする最新の情報通信技術を駆使し、半導体技術を中心とするエレクトロニクス分野の立場から、環境問題に対処
- 企業と大学や研究機関などが連携し、**共同で研究開発や実践的な教育プログラム**を行うことで、最新の**情報通信技術の素養を有する**半導体産業に必要な人材の育成

最新のAIならびにIoT技術の素養を備えた上で、環境問題にエレクトロニクス分野の立場から取り組む人材の育成を目的とした**グリーンエレクトロニクス工学科**をシステム理工学部の改組ならびに定員増により設置

- ・環境に配慮した電子機器の開発や生産、それらを活用したエネルギーの効率的な利用方法を取り扱う
- ・エネルギー消費の多い情報通信機器や自動車などの製品における省エネ化やCO₂排出削減も対象
- ・最新のAI技術ならびに情報通信技術を駆使し、新たなグリーンテクノロジーを開発することを可能とする研究者ならびに技術者の育成
- ・省エネルギー化、再生可能エネルギー、環境センサーなどエレクトロニクス分野の立場から環境問題に寄与するために必要となる学問体系ならびに最新のAI/IoTを含む情報通信技術を対象

- ・実務経験を有する教員ならびに産業界からの客員教員
- ・連携企業との協力の下、実環境で実習
- ・最新の関連するツールやソフトウェアの提供
- ・産業界との共同プロジェクトや研究活動
- ・定期的なワークショップ、パネルディスカッションなどのイベントを開催



産業界との連携

- ・半導体関連企業における現場実習
- ・半導体関連企業からの寄付講座
- ・60名の学生全員が企業実習を行うために10数社の半導体関連並びに自動車関連企業との連携を目指す

教育研究体制

海外との連携

- ・半導体関連技術に関する教育研究においては台湾における教育研究機関との連携が重要
- ・台湾の国立中央大学ならびに中原大学との共同教育体制（ダブルディグリー・プログラム含む）を展開
- ・短期から中期の海外インターンシップおよび海外体験研修の実施
- ・全編英語によるグリーンエレクトロニクスを対象とするグローバルPBLの設置

外部資金の獲得

- ・URAおよび関係部局からの戦略的支援による外部資金獲得スキームの強化
- ・特定課題（カーボンニュートラル、グリーンDX関連研究）に対する企業からの寄付および受託研究の重点化

多様な入試制度

- ・多様な入学者の確保
- ・総合型選抜入試（指定校推薦、公募制推薦など）
- ・本学科に特化したエレクトロニクスの観点からの環境問題に関わるAO入試（グリーンエレクトロニクス型選抜）の展開
- ・海外からの留学生の確保のための留学生入試

人の生活を豊かにする“ものごと”の「しくみ」を考え、想像するために必要となる学問体系により**GXを実現**

AIならびにIoTをを駆使し、半導体技術を中心とするエレクトロニクス分野の立場から、環境問題に対処可能な人材の育成